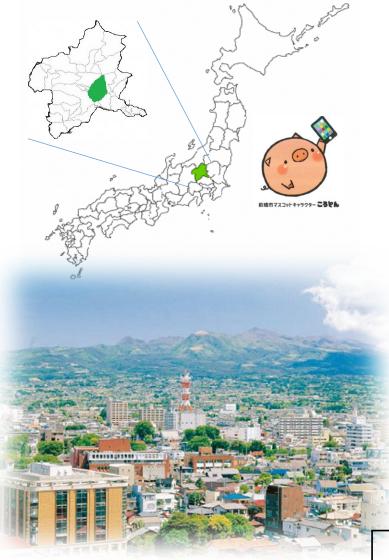
## 前橋市の概要

## 日本の中央に位置する中核市



- ▶人 口
- 336,284人
- ▶世帯数
- 145,179世帯
- ▶面 積
- 311.59km
- ▶標 高
- 最低64m 最高1,823m 関東平野の北端から赤城山

### 物価が安い

## 医療が充実

物価水準



**1** 位

→ 小売物価統計調査(構造)/令和元年 総務省 医師の数



市民10万人あたりの医師数/ 平成28年度 中核市行政水準 1,

先進医療件数

群馬大学病院の先進医療件数/ 前橋市調べ

### 子育て世代に優しい

子育てしながら 働ける環境がある都市

待機児童



0,

成長可能性都市ランキング2017/ 野村総合研究所 保育所等関連状況とりまとめ 令和元年 厚生労働省

2022年3月28日(月)14時~ モビリティシンポジウム

# 1.前橋市の交通課題

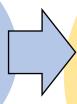
~地域の課題をどう捉えているか~

### ▶車社会から派生している地域課題

#### 前橋市の交通事情

## 過度な自家用車依存

- ▶保有率全国1位
- ▶自家用車の輸送分担率75%
- ▶公共交通利用者の低迷3.5%
- ▶交通事業者が複数存在 (バス6社・タクシー9社)



### 課題①くらしぶり

- ▶公共交通の利便性低下
- ▶送迎負担増加
- ▶自家用車維持費負担
- ▶交通事故の多発

## 課題③その他

- ▶環境負荷
- ▶医療費増大
- ▶渋滞等経済的損失大
- ▶地域コミュニティ欠如

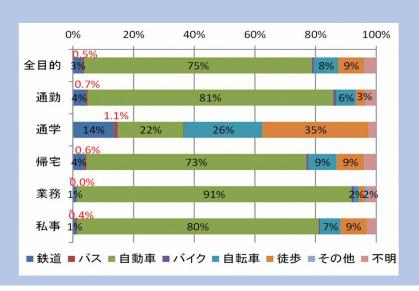
## 課題②都市構造

- ▶都市のスプロール化
- ▶社会インフラ負担増
- ▶市街地低迷、企業撤退
- ▶人口流出

### ▶公共交通とまちづくりの現

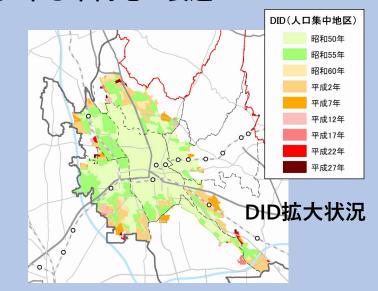
#### 公共交通の現状・特徴

- ▶自家用車依存 (車75%、鉄道・バス3.5%)
- ▶自家用車保有率全国1位 (<sub>群馬県)</sub>
- ▶交通事業者が複数存在 (バス6、タクシー10)



#### まちづくりの現状・特徴

- ▶高い道路整備率・区画整理施行率
- ▶市街地の郊外への拡大
- ▶中心市街地の衰退



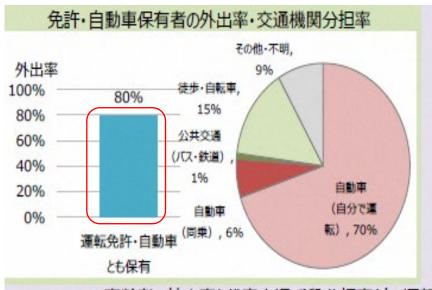
R2 中核市水準調査60市

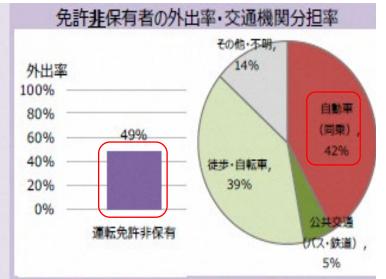
世帯あたり自家用車保有台数 2位 人口あたり乗合バス利用者数 57位 区画整理施行済み面積 8位 DID地区人口密度 54位

市街地が低密度に形成され、自家用車依存が高い。 高齢化進展により移動に関する課題が顕在化

### ▶過度な自動車依存による課題

- ▶免許非保有者の外出率が低い
- ▶送迎者の負担が大きい





■ 高齢者の外出率と代表交通手段分担率(左:運転免許・自動車とも保有、右:運転免許非保有)

資料:平成27年度群馬県パーソントリップ調査

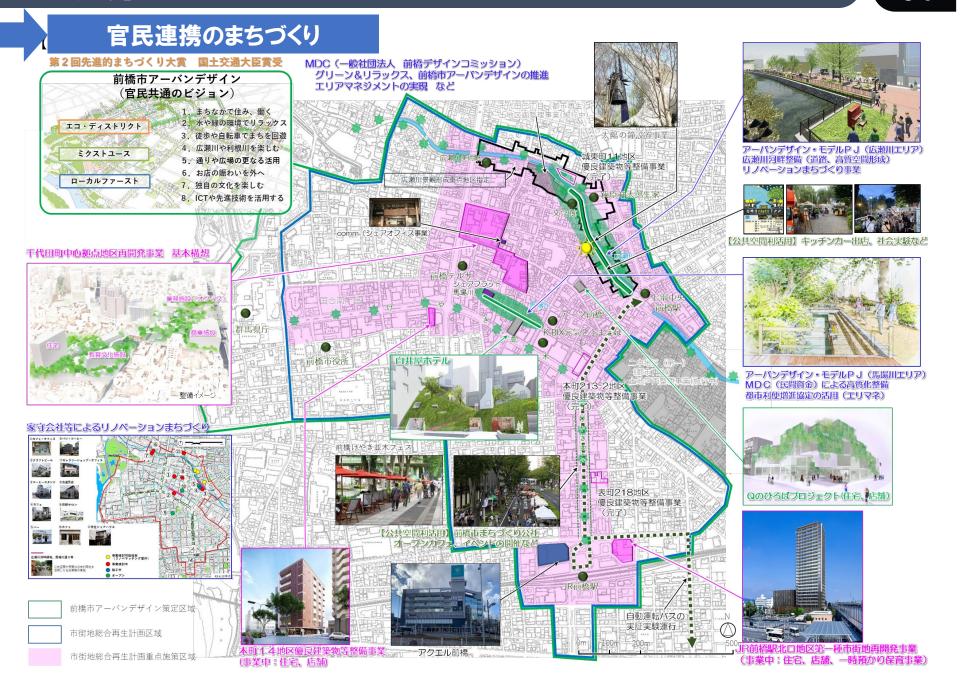
### ▶中高生の交通事故件数が非常に高くなっている

2020年都道府県 別自転車事故件数	1位	2位	3位
高校生	群馬県 88.11件	静岡県 58.06件	宮崎県 33.01件
中学生	香川県 21.66件	群馬県 21.39件	徳島県 16.08件

# 2.課題解決に向けた取り組み例

~何のためにどんな取り組みしているのか~

## ▶魅力あるまちづくりのために



### ▶利用しやすい交通環境と持続可能な都市のために

# 地域公共交通計画と立地適正化計画コン

広域幹線軸(鉄道)

広域幹線軸 (バス)

地域間幹線 (バス)

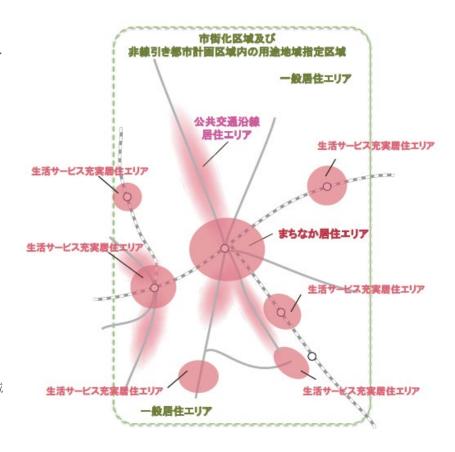
地域内交通

立地適正化計画 都市機能誘導区域

交通結節点

### コンパクトシティプラスネットワーク

人口減少社会において市域の一様な投資を 続けるのではなく、居住地や都市機能を誘導 する地域拠点を設け、都市をコンパクト化、公 共交通でネットワーク化するまちづくりを推進



### ▶利用しやすいバス環境のために

13時

14時



#### 運行事業者

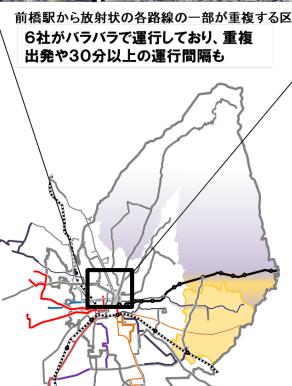
関越交通(株) 上信電鉄(株) 株群馬バス 永井運輸株 群馬中央バス株 日本中央バス株

#### 共同経営の概要

- ✔6社11路線のダイヤを調整し、重複区間について等間隔運行化
- ✓JR両毛線の運行ダイヤにあわせ、上下ともに15分間隔のパターンダイヤとし、パターン化した間の運行もできる限り5分単位で運行

(区間:前橋駅~県庁前 時間帯:10時~16時)

<u>✓ バス停間所要時分を統一化</u>し、前橋駅~県庁前のすべてのバス停でパターン ダイヤ化



10時 11時 12時

6社が路線毎に最適化

全体として最適化

#### 各停留所におけるパターン時刻

県庁前→前橋駅方面

前橋駅→県庁前方面

停留所	パターン時刻	停留所	パターン時刻
県庁前	00分 15分 30分 45分	前橋駅	00分 15分 30分 45分
市役所・合庁前	01分 16分 31分 46分	表 町	01分 16分 31分 46分
日銀前	01分 16分 31分 46分	本 町	03分 18分 33分 48分
本 町	03分 18分 33分 48分	市役所·合庁前	04分 19分 34分 49分
表 町	04分 19分 34分 49分	県庁前	05分 20分 35分 50分

14時

### ▶地域におけるくらしの足確保のために



### 地域主体による地域内デマンド交通

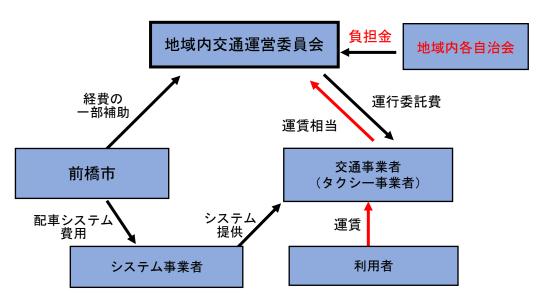
H23 地域づくり協議会に安全安心対策部会を設置し、地域高齢者の足の確保について検討を開始 H28 地域で独自にアンケート実施

- ※51%が<u>デマンド型の移動手段導入を希望</u>(定時定路線23%)
- ※59%地域から支援金を負担してもよい

H30 地域づくり協議会内に「地域内交通運営委員会」設置

H30.12~R1.2(62日間) 地域内交通実証実験

R02.10~ 本格運行開始





城南地区地域づくり協議会

### ▶地域におけるくらしの足確保のために



### 地域主体による地域内デマンド交通

#### 城南あおぞら号概要

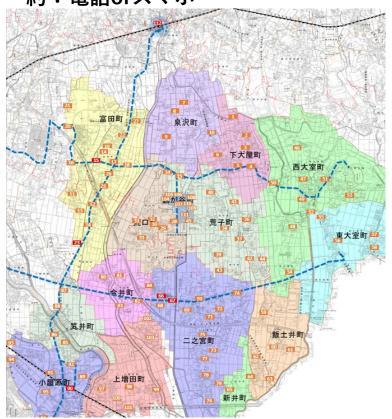
▶形 態:デマンドバス (バス停toバス停型)

▶運行日:月曜日~土曜日

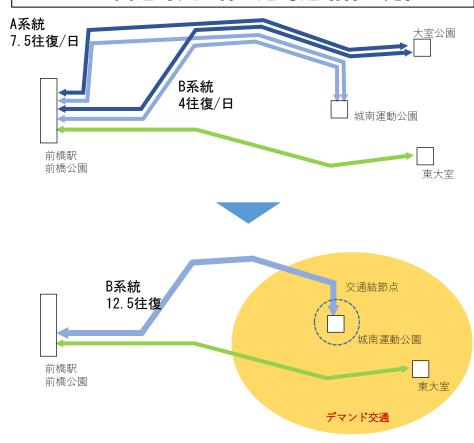
▶時 間:8:30~16:30

▶運 賃:300円

▶予 約:電話orスマホ



#### デマンド交通導入に伴う定時定路線の見直し



- ・運行距離を短くし、運行回数を増回 (地域間幹線を充実)
- ・あわせて複数の系統を1本にまとめ、 全区間で必要な運行回数を確保

### ▶高齢者等の外出機会拡大のために

ドア・ツー・ドア

フィタク



#### マイタク制度による移動支援

タクシー運賃の一部を支援します!



平成 28年 1月 23日

運行開始!

使って便利・乗って安心! お年寄りや障害のある方などへ お出かけの機会を提供します!

※ 事前に登録申請が必要です。

(平成27年10月1日(木)から受付開始:郵送による登録申請が基本)



#### どんな登録条件なの?

前橋市に住民登録があり、次の登録条件のいずれかに該当する方が登録できます!

- B:年齢65歳以上で運転免許証(普通・中型・大型免許)をお持ちで無い方
- C:下記の①~⑦のいずれかの該当者
  - ①身体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④発達障害者、⑤要介護・要支援認定者、 ⑥難病患者・小児慢性特定疾病患者、⑦妊産婦
- D: 運転免許証を自主返納した方



#### ・いくら支援が受けられるの?

- 登録者が複数でタクシーに同乗したとき ⇒ 1人1乗車に付き、最大500円を支援
- 登録者が一人でタクシーに乗車したとき ⇒ タクシー運賃の半額を支援 ただし、1運行1,000円を上限とします。 ※付添い人も同乗できますが、支援の対象外となります。



利用登録証交付申請書はどこでもらえるの?

市役所 (5階:交通政策課)、各地区支所、市民サービスセンター、地区公民館等

#### 前橋市政策部交通政策課バス交通係

TEL: 027-898-5939 FAX: 027-221-2809

027-898-5844

#### 市長公約から検討がスタート



#### 全市域デマンド化研究会で協議

※H24.5第1回研究会議~H27.7第9回研究会議(最終案承認)



既存の公共交通機関では利用が難しく、外出したくても出来な かった市民に外出の機会を提供するため、既存のタクシーを活 用した運賃補助サービスを全市域に導入

#### 【登録条件】

- A75歳以上の人
- B65歳以上で運転免許証のない人
- C障害者、要介護・要支援認定者、介護予防・生活支援サービス事業 対象者、難病患者・小児慢性特定疾患者、妊産婦(条件あり)
- D 運転免許証を自主返納した人または失効した人

#### 【支援金額】

1 登録者が1人で乗車の場合…タクシー運賃の半額

(1運行の上限1,000円)

2 登録者が複数人乗車の場合…1人1乗車につき最大500円支援

### ▶マイタク制度の運用効率化のために



### マイナンバーカード活用によるサービス向上



### 住民からの声

「外出する機会が増えた」「カードなら財布の中もすっきりする」 前橋市やタクシー事業者も事務処理量が減少

## ▶運転手不足のために

### 自動運転バスの取り組み



#### 前橋市の実証実験の特徴

- ○一般車両と混在化での市街地での実証
- ○既存のバス路線のまま運賃収受あり







### 2018

- √公道での自動走行(緑ナンバー初)
- √社会受容性調査

市民は好意的に受け止め

### 2019

- √複雑な経路における自動走行検証
- √2台同時運行による遠隔監視の検証





### 2020

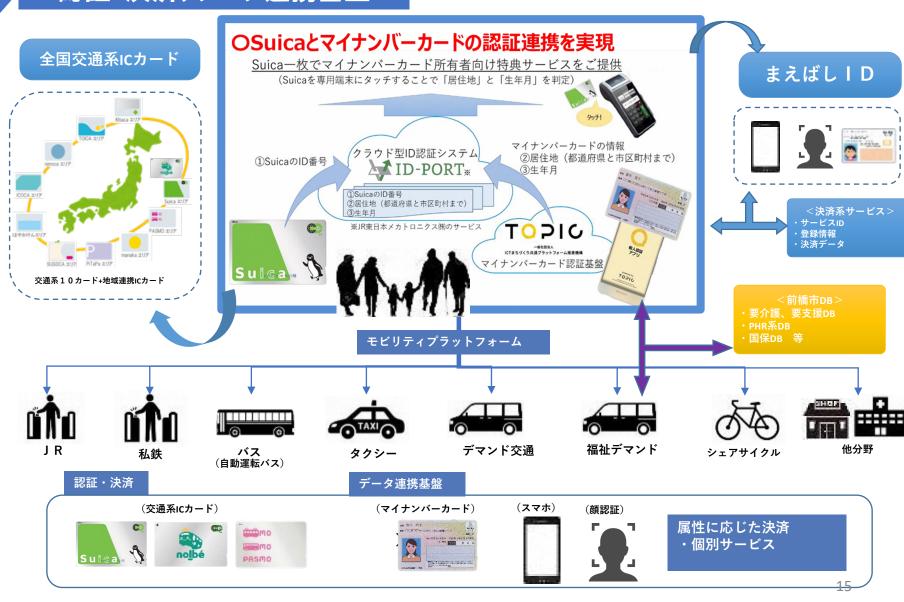
√5G環境、路側にセンサー・カメラ等の 設置による遠隔監視環境の高度化 √決済を想定した顔認証技術の検証

### ▶交通再編を有効化するために



## ▶個別サービス提供のために

### 認証・決済、データ連携基盤



### ▶利便増進のために=MaeMaaSの取り組み

フィジカル 環境の整備 共同経営の 仕組み データの 利活用

- ①路線網の再編
- ②交通系ICカードの導入
- ③バスインフォメーシ<mark>ョン</mark> 改革
- ・各社間のデータ統一 (路線名・系統番号)
- ・デバイス間の案内統一 バスマップ、サイネージ、 のりば案内など

- 1事業者連携の必要性
- ②定額制・サブスク (運賃プール制活用)
- ③交通モード間の共同経営 (バス+タクシー等)
- ④自動運転バス遠隔管制の 共同化

- ①データ取得環境の構築
  - ⇒利用実態に基づく交通 再編
  - <mark>⇒利用</mark>しやすい運賃体系
- ②資<mark>格認証による個別サービス</mark>
  - ・高齢者、障害者別サービス
  - ・福祉送迎等の最適配車システム化等

MaaS

**Mobility** as a Service

Management as a Service